

市政の執行状況

平成18年第3回市議会定例会が、9月4日から9月22日まで開催され、多田市長が開会初日に、6月から8月までの市政執行の概要について報告しました。その内容を「市民が主役 いきいき やしお」の実現を目指す、市基本構想の6本柱に分類してお知らせします。

かいてき

新時代を支える

都市の形成

- ▼7月11日、野田市で地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会の平成18年度総会が開催され、国等に対する要望活動事業等を承認。
- ▼7月11日、通勤・通学時間帯の増便を中心としたコミュニティバスの運行時刻の見直しを図り、バス利用者の利便性が向上。
- ▼市民生活における快適な道路環境を改善するため、大曽根地内ほか2件の道路改良工事および八潮六丁目地内の歩道段差解消実施設計などの業務委託を3件発注。
- ▼効果的な内水排除を図るため、南後谷排水機場ポンプ施設の修繕を発注。また、流下能力の確保と生活環境の改善を図るため、鶴ヶ曽根地内の水路実施設計業務委託を発注。
- ▼公共下水道の普及を図るため、調査・設計業務委託および管渠築造工事を発注。
- ▼大原団地の空家1戸の入居募集を実施。
- ▼つくばエクスプレスは、昨年8月の開業後、順調に運行され、乗客数も予想を上回る増加。
- また、7月末からは、開業1周年を記念して秋葉原駅を中心に各種のイベントが実施され、8月25日・26日の両日には、八潮駅で鉄道会社、商工会とともに1周年フェスタを開催。
- ▼八潮南部3地区の仮換地指定率は、

- 7月末現在、西地区が92・2パーセント、中央地区が47・2パーセント、東地区が64・7パーセント。
- ▼八潮駅北口の共同利用街区の行政施設を含む住宅棟については、躯体工事が完了し、現在、内外装等の仕上げ工事を施工中。
- ▼高度地区の指定に向け、8月14日から28日まで、都市計画原案の縦覧を実施するとともに、8月30日・31日には、原案に対する意見を陳述していただく説明公聴会を開催。
- ▼良好な街並み景観を誘導していくための色彩・形態意匠等の基準を定める景観計画の策定に向け、7月24日、景観まちづくり審議会を開催するとともに、市民ワークショップを開催。
- ▼市民の皆さんと協力して、違反簡易広告物の除却を行い、きれいな街並みを維持していくため「八潮市違反簡易広告物除却推進員制度」を8月から開始。
- ▼7月末現在、73件の開発行為許可申請等があり、前年度と比較して増加傾向。
- ▼稲荷草第二、西袋上馬場土地区画整理事業において、審議会を開催。
- また、鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業では、物件調査業務委託、事業計画変更図書作成業務委託および街路維持工事を、大瀬古新田土地区画整理事業では、物件調査業務委託、測量等設計業務委託、並びに街路築造および舗装新設工事を発注。
- ▼下水道事業では、7月末における有収水量は約332万6000立方

やすらぎ

心やすらぐ安全な

生活環境の形成

- ▼綾瀬川浄化対策協議会の事業として、7月12日、綾瀬川の増水期における水質・生物調査を実施。
- ▼八潮市環境マネジメントシステムによる平成17年度のエコオフィスの取り組みでは、電気使用量、紙使用量、水使用量、ごみ発生量の削減に取り組んだ結果、約219万円の経費削減と約93・7トンの二酸化炭素を削減。
- ▼「八潮市土砂等のたい積及び投棄の規制に関する条例」に基づく許可申請は、7月末現在で9件、また、残土の不法投棄にかかわる草加警察署長への通報は5件。
- ▼6月29日、東埼玉資源環境組合による第二清掃工場ごみ処理施設にかかわる解体工事説明会が開催され、

ふれあい

明るく生きがいに

みちた社会の形成

- 地元町会を始めとする市民の皆さんに対して工事概要の説明を実施。
- ▼夏の交通事故防止運動期間中の7月15日から24日までの10日間、草加警察署および交通安全対策協議会の各団体とともに市内広報、街頭キャンペーンを実施。
- ▼6月27日、八潮市国民保護協議会を開催して「国民保護に関する八潮市計画」について諮問し、8月29日の協議会で答申。
- ▼8月12日、オウム真理教の進出による市民の不安や恐怖を解消するため、オウム真理教対策協議会主催でオウム真理教の拠点施設の一つである大瀬施設周辺で抗議行動を実施。
- ▼市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、27カ所の公園の維持管理を14の地元町会・自治会等と契約。
- ▼8月6日、大瀬小学校で消防団の夏季訓練を開催し、団員および来賓など289人の参加のもと、人員、服装、規律の点検およびポンプ操法を実施。
- ▼5月から7月までの火災発生件数は8件で、1月からの累計件数は16件となり、昨年の同時期と比較して総数で4件減少。
- ▼救急出動件数は、5月から7月までの3カ月間で832件、このうち交通事故によるものが154件。1月からの累計件数は、1901件となり、昨年の同時期と比較して総数で9件増加し、交通事故では7件減少。

ちから

活気あふれる

産業の形成

- ▼市内商店街の活性化を図るため、共同売り出し事業等を実施する5商店会に対して、商店街活性化推進事業補助金の交付を決定。
- ▼7月19日、八潮市ボランティア推進協議会を開催し、市民および市内ボランティア団体などを対象に実施した「八潮市民のボランティアニーズに関する調査」の集計結果を踏まえ、ボランティア活動の支援方針について審議。

はぐくみ

明日の八潮を担う

人づくり環境の形成

- ▼6月23日から29日までの男女共同

- ▼八潮市コミュニティ協議会の花いっぱい運動として、7月6日、やしお生涯学習館前駐車場、すえひろ荘などにサルビアの花植えを実施。
- ▼15人の方を八潮市青少年健全育成審議会委員に委嘱するとともに、7月27日に審議会を開催し、青少年育成関係者の連携による青少年の健全育成の方策などについて、意見を聴取。
- また、8月に埼玉県立大学と福祉専門学校から、それぞれ1人の実習生を受け入れ、高齢者福祉施設「やしお苑」や児童館、保健センター、福祉作業所などで実習体験。
- ▼八潮市障害程度区分審査会を5回開催し、障害程度区分の審査判定等を実施。
- また、障害者自立支援法に規定された障害福祉計画を策定するため、障害者団体関係者、知識経験者など20人の方を八潮市障害福祉計画策定提言会議の委員に委嘱し、8月29日に会議を開催。
- ▼7月28日、八潮市健康と福祉のまちづくり推進協議会を開催し、「八潮市健康づくり行動計画」の策定について諮問するとともに、策定部会との合同会議を実施。
- また、同日、首都大学東京大学院星教授による「住民参画で取り組む元気なまちづくり・健康づくり」をテーマに講演会を開催。
- ▼7月15日、「平家物語の世界」を、また、八潮公民館では、7月1日に「琵琶うたものがたり」、7月20日・27日には「色と香りで脳の若返り」をそれぞれ開催。
- ▼6月25日、すえひろ荘ゲートボール場で19チームが参加して、第26回市民ゲートボール大会を開催。
- ▼7月14日、NHKテレビでおなじみの西川佳克さんを招き、エイトアリーナで「ラジオ体操講習会」を開催するとともに、8月の夏休み期間、小学3年生以上を対象に、フライングディスクやスポーツ吹き矢を体験する「スポレク楽珍塾」を開催。
- ▼平成20年度全国高等学校総合体育大会は、埼玉県実行委員会において、本市がハンドボール競技女子の開催地に決定。
- ▼7月15日、二丁目水川神社で行われた市指定民俗文化財「二丁目の獅子舞」を映像記録するとともに、7月23日には、八潮駅で実施された県指定民俗文化財である「大瀬の獅子舞」の様子を調査記録。
- また、7月25日から9月10日までの期間、資料館展示室で「八潮の染めもの」をテーマに収蔵品展を開催。
- ▼中学校の学校総合体育大会で、市内の生徒が健闘し、八幡中学校男子水泳部は団体種目で全国大会への出場を果たし、潮止中学校陸上部は個人種目で関東大会に出場。
- ▼7月27日から8月2日まで、市内中学生17人が、オーストラリアのシドニーを訪問し、ホームステイなど数多くを体験。
- ▼小中一貫教育については、7月5日、臨時教育委員会が開催され、「平成19年度から八條北小学校と八條中学校で予定されていた一体型の小中一貫教育を延期し、研究委嘱による分離型での小中一貫教育を進める」と決定。これを踏まえ、地域・保護者の皆さんへ報告。

すいしん

市民に開かれた計画的な

行政推進体制の形成

- ▼7月13日、都内で全国の約150の市町村が加入する全国生涯学習市町村協議会の平成18年度総会が開催。
- ▼AED(自動体外式除細動器)を本庁舎1階、八潮メセナ、やしお生涯学習館、ゆまにて、文化スポーツセンター、エイトアリーナの6カ所に1台ずつ設置。
- ▼昨年度に設置した保健センターと休日診療所の2台を含め、合計8台。生涯学習まちづくり推進課 ☎328